

努力賞

『わたしはわたし』

荒川区立第六瑞光小学校二年

西原 実沙珠

やなぎ田先生こんにちは。とつぜんですが、やなぎ田先生は自分が好きですか？わたしは、自分が好きです。なぜなら、かぞくから大切にされているし、友だちとたすけあっている自分が好きだからです。

でも、ときどき自分がいやになる時もあります。それは、お姉さんとけんかをしていて自分から「ごめんなさい」と言えなくてなかなかおりができない自分がいやになる時です。

自分がいけないことをしたのに、すなおにあやまることができない自分がきらいになります。

この本の「カーぼう」は、自分が大きらいです。でも、さい後には、ゆう気を出して自分にすなおになることができます。すなおに言うとう自分の心の中がスッキリします。

この本を読んで「みんなちがってみんない」ということばが頭の中につかんできました。

わたしのクラスには、国語がとくいな人もいれば、えを書くのが上手な人もいます。走るのがにが手な人や水えいがにが手な人もいます。

大切なことは、できない自分のままでいるのではなく、今の自分よりもせいちようできるようにど力することだと思います。

そうすれば、みんなむねをはって自分を好きになることができると思います。

わたしは、みんなせいかくがちがって自分らし

さのある友だちが大すきです。これからも、自分
や友だちのすてきなところをたくさん見つけてい
きたいです。